

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【公開番号】特開2016-15934(P2016-15934A)

【公開日】平成28年2月1日(2016.2.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-007

【出願番号】特願2014-141510(P2014-141510)

【国際特許分類】

A 2 3 L 7/10 (2016.01)

【F I】

A 2 3 L 1/10 G

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月4日(2017.4.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

図示の実施例のように吸引力発生部材が磁気による吸引力発生部材である場合、ベース3側の吸引力発生部材を磁石とし、巻き簾2側の吸引力発生部材を磁性体としてもよい。ベース3に装着される巻き簾2のサイズが様々であるあることを考慮して、ベース3側に設ける吸引力発生部材の面積は広くてもよい。また、巻き簾2とベース3のそれぞれの吸引力発生部材が、相互に適合するように配置されていてもよい。磁力による吸引力によって、巻き簾2がベース3の適正位置に自動的に配置される。そのため、位置ずれによる巻き簾2からの食材のはみ出しが防止できる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

以上説明した実施例によれば、ベース3の上面31は平坦な面にしながら巻き簾2をベース3に位置決めすることができるため、ベース3に対する巻き簾2の着脱が容易になる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

上記磁気による吸引力発生部材は、上記巻き簾に設けられている磁性体に対する磁石である請求項2記載の食品成形装置。